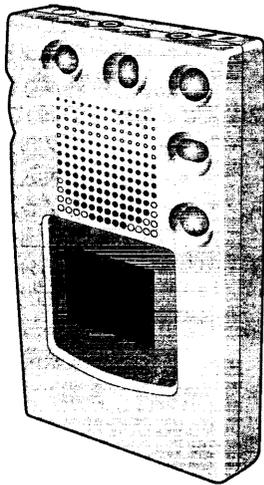


HDM-160R形 日立ICレコーダー 取扱説明書

HITACHI



このたびは、日立ICレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

TE13327 ©Hitachi, Ltd. 1999

Printed in Japan KK-T(N)

日立ICレコーダー保証書

本書は、お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合に、本書裏面記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は裏面をご覧ください。

形名	HDM-160R		
保証期間	お買い上げ日より 本体1年間		
*お買い上げ日	年	月	日
*お客様	ご芳名	様	
	ご住所	〒	
	電話	()	-
*販売店	住所		
	店名		
	電話	()	-

ご購入店さまへ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

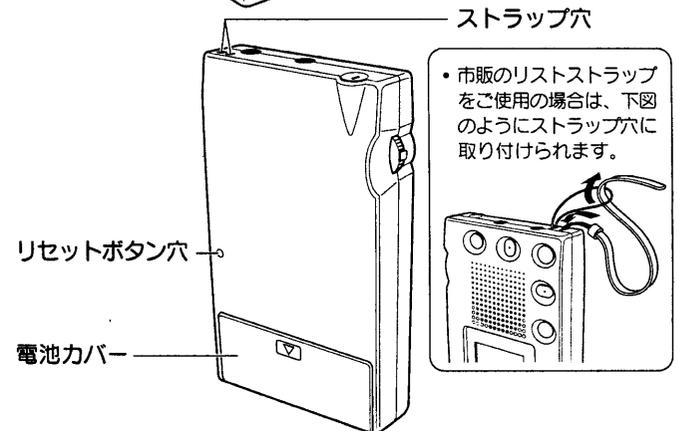
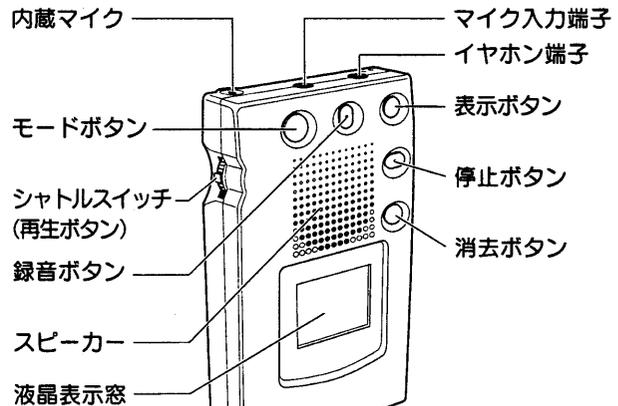
持込修理

はじめに

このICレコーダーは、録音・再生の操作が簡単です。録音ボタンを押すと録音が始まります。停止ボタンを押すと、録音を停止します。再生したいときは、シャトルスイッチを押します。停止ボタンを押すと、再生を停止します。

次に録音したいときも、最新のファイル番号が自動的につけられますので、カセットテープ等のように録音部分の最後尾をさがす必要がありません。

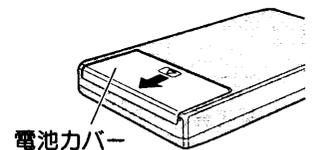
各部のなまえ



乾電池を入れる

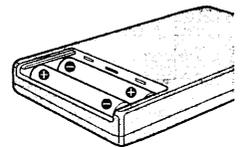
ご使用前に付属のアルカリ単4形乾電池を入れてください。

- ① 電池カバーを▼マークを押しながら矢印方向にずらして開ける

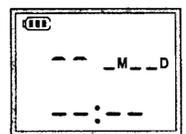


- ② 単4形乾電池2本の⊕⊖を正しく入れ、電池カバーを閉める

・電池カバーを閉めるときは、カバーを水平に差し込んでください。



乾電池を入れると時計表示 (パワーオフモード) になります。ご使用前に時計を合わせてください(「時計を合わせる」④ページ参照)。



重要

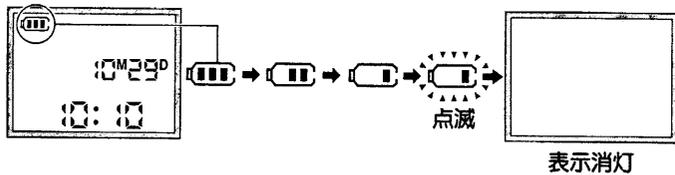
- ・乾電池を入れる途中で操作ボタンを押さないでください。表示や動作が正しく動かなくなることがあります。
- ・乾電池はアルカリ単4形乾電池をお使いください。マンガン乾電池をお使いになると、使用時間が短くなります。

1

2

● 乾電池を交換するめやす

アルカリ乾電池の持続時間は、パワーオフモードで約6ヶ月です。表示パネルに電池の残量を示しています。電池の残量が点滅したら、電池を交換してください。



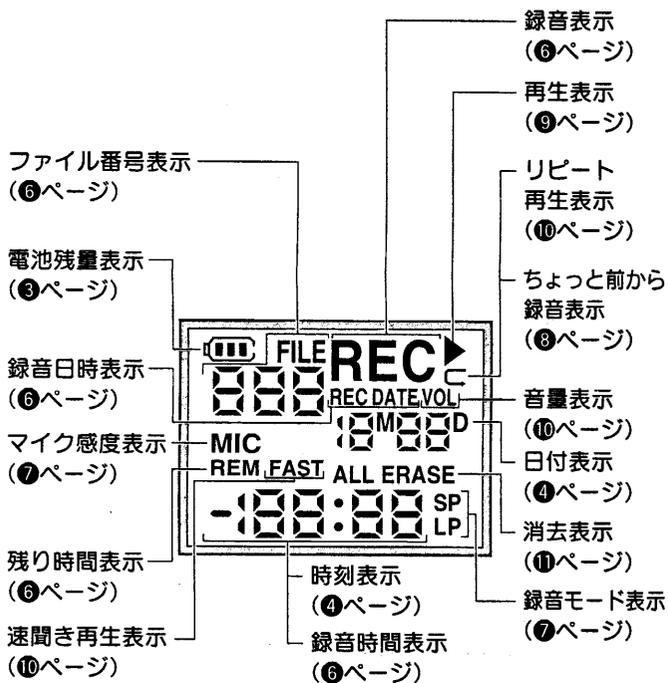
重要 乾電池の交換は必ずパワーオフモードで行ってください。録音中に交換すると録音してある内容が壊れるおそれがあります。

お知らせ

- 乾電池をはずしても録音した内容は残りますが、時計は設定されていない状態に戻ります。乾電池を交換したら、時計を合わせ直してください。
- アルカリ乾電池の持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

液晶表示の見かた

液晶表示には、操作の参考となるさまざまな情報が表示されます。詳しい使いかたは()の中のページをご覧ください。



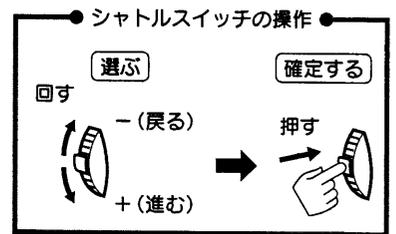
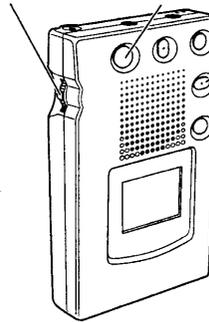
お知らせ

本機の液晶表示窓は液晶を使用していますので、使用環境温度が高い場所や低い場所で使用すると、表示が異常になったり、表示速度が遅くなったりすることがあります。このような場合は、常温に戻せば、もとに戻ります。

時計を合わせる

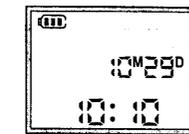
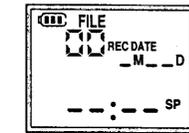
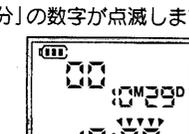
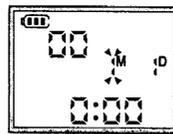
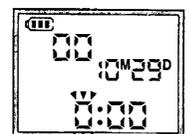
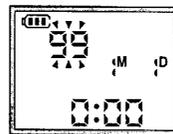
初めて電池を入れたときや、電池を交換したときは、必ず時計を合わせてください。

シャトルスイッチ モードボタン 停止ボタン



例 西暦2000年10月29日午前10時10分に合わせるとき

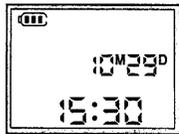
- モードボタンを押す
 - 「年」の数字(西暦下2けた)が点滅します。
- シャトルスイッチを回して「年」の数字を選ぶ
- シャトルスイッチを押して「年」の数字を確定する
 - 「月」の数字が点滅します。
- シャトルスイッチを回して「月」の数字を選ぶ
- シャトルスイッチを押して「月」の数字を確定する
 - 「日」の数字が点滅します。
- シャトルスイッチを回して「日」の数字を選ぶ
- シャトルスイッチを押して「日」の数字を確定する
 - 「時刻」の数字が点滅します。
- シャトルスイッチを回して「時刻」の数字を選ぶ
 - 時刻は24時間表示です。
- シャトルスイッチを押して「時刻」の数字を確定する
 - 「分」の数字が点滅します。
- シャトルスイッチを回して「分」の数字を選ぶ
- 時報などに合わせてシャトルスイッチを押す
 - 時計が設定され、ファイル選択モード画面が表示されます。
- 停止ボタンを約1秒以上押し続ける
 - パワーオフモード(時間表示)になります。



モードを選ぶ

● パワーオフモードについて

本機は、録音・再生中以外の状態で1分間、再生一時停止状態では5分間何も操作しないとパワーオフモード(省電力)になります。パワーオフモード中は電池表示と日時だけ表示されます。



(パワーオフモード)

- 本機をお使いになったあと、停止ボタンを約1秒以上押してもパワーオフモードになります。

● パワーオンモードについて

パワーオフモード中にシャトルスイッチ、モードボタン、録音ボタンを押すとパワーオンモードになります。押すボタンによって動作や状態は次のようになります。

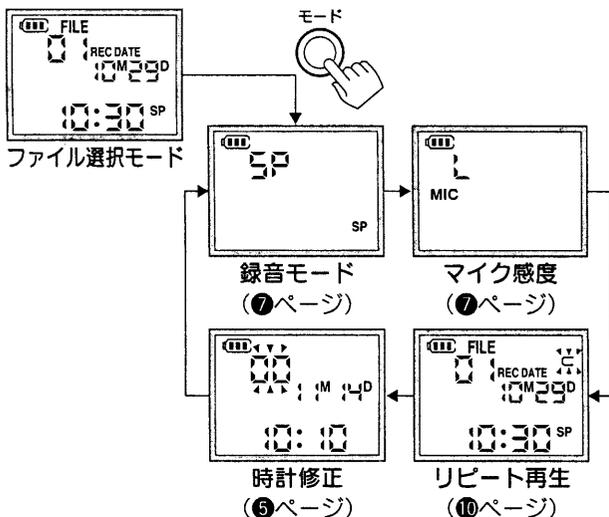
押すボタン	動作・状態
シャトルスイッチ	• ファイル選択モードになります
モードボタン	• ファイル選択モードになります (日付が設定されていないときは、時計修正モードになります)
録音ボタン	• 録音を開始します

- パワーオフモードにするときは、停止ボタンを約1秒以上押してください。

● モードボタンで選べる設定について

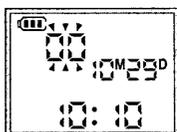
モードボタンを押すと、各設定画面が表示されます。設定を変えたいときは、シャトルスイッチを回してお好みのモードに表示を切り換えて選んでください。

- 各設定画面でシャトルスイッチを押すと、設定が変更されファイル選択モード画面に戻ります。
 - 各設定画面で停止ボタンを押すと、設定変更はキャンセルされファイル選択モード画面に戻ります。
- 詳しくは、それぞれの設定項目を参照ください。



● 時計を合わせ直す

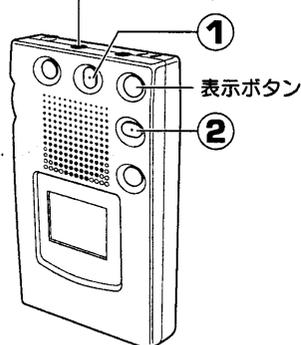
- ① 下図のような時計修正画面が出るまでモードボタンを押す
 - 「年」が点滅表示し、「月/日/時/分」が表示されます。
- ② 「時計を合わせる」の手順②~⑩と同じ手順で時計を合わせ直す



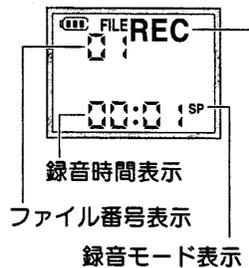
録音する

最長約160分間(LPモード)約75分間(SPモード)、最大300ファイルまで録音できます。録音するたびに自動的にファイル番号が切り換わります。一つの録音が1ファイルになります。

マイク入力端子



- ① 録音ボタンを押す
 - 録音が始まると、液晶表示窓に「REC」が表示されます。



録音時間表示

ファイル番号表示

録音モード表示

録音表示

重要

録音中は乾電池を交換しないでください。録音してある内容が壊れるおそれがあります。

- 録音中に表示ボタンを押すと、録音できる残り時間が表示されます。

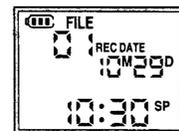


- もう一度表示ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

おしらせ

市販のマイクをマイク入力端子につないで録音することができます。

- ② 停止ボタンを押す
 - 録音が停止し、ファイル番号、録音した日付、時刻が表示されます。



ご注意

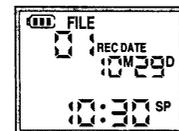
- マイク入力端子をご使用の場合は、マイク感度を選んで(7ページ参照)、録音レベルが上がりすぎないようにご注意ください。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が入ることがありますのでご注意ください。

● 録音できる残り時間を調べる

おしらせ

- 録音できる残り時間が10分を切ると、録音時間の表示が残り時間表示に変わります。
- 300ファイル録音したとき、または録音可能時間が無くなったときは、「FULL」が点滅し録音できません。録音を続けたいときは、不要なファイルを消去してください(11ページ参照)。

- ① モードボタン、またはシャトルスイッチを押して、下図のようなファイル選択モードにする

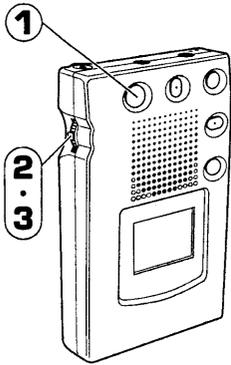


- ② 表示ボタンを押す
 - 「REM」が点滅し、録音できる残り時間が表示されます。
 - もう一度ボタンを押すとファイル選択モードに戻ります。



●録音モードを切り換える

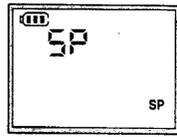
録音モードを「SP」か「LP」に切り換えることができます。音質を重視するときは「SP」モードにしてください。



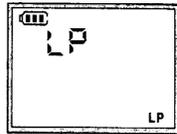
お知らせ

こまかな音を録音するときはSPモードでご利用ください。

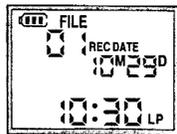
- ① モードボタンを押して、下図のような録音モード切換画面にする
 - ・現在設定されているモードが表示されます。
 - ・初期値は「SP」です。



- ② シャトルスイッチを回して、「SP」か「LP」を選ぶ

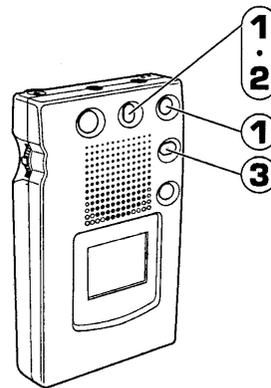


- ③ シャトルスイッチを押す
 - ・録音モードが設定され、ファイル選択モードに戻ります。



ちょっと前から録音する

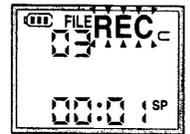
ちょっと前から録音は、録り逃がさないための機能です。約15秒間を連続上書きして録音します。連続上書き録音中に録音ボタンを押すと、直前15秒間との連続録音になります。



ご注意

手順①のモード中でも、録音しているときと同じくらい電池を消耗します。

- ① 録音ボタンと表示ボタンを同時に1秒以上押す
 - ・「REC」の点滅と「C」が表示され、録音が始まります。

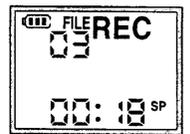


↓ 15秒経過すると

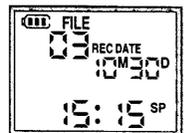


- ・録音経過表示は15秒で止まりますが、連続上書き録音をしています。常に最新の15秒間が録音されます。

- ② 録音ボタンを押す
 - ・「C」が消え、「REC」表示は点滅から常時表示になり通常の録音にかわります。
 - ・15秒経過する前に録音ボタンを押しても、通常の録音にかわります。
 - ・録音経過時間表示が再び動き出します。



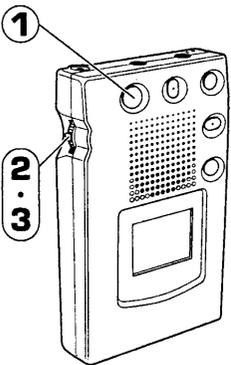
- ③ 停止ボタンを押す
 - ・録音が停止し、ファイル番号と②で録音ボタンを押した時点の日時が表示されます。



- ・もう一度ちょっと前から録音するときは、手順①から始めてください。

●マイク感度を切り換える

マイク感度を「L」(Low)か「H」(High)に切り換えることができます。会議や打合せを録音する場合は、小さな声や離れた声は聞きとりにくくなりますので「H」にすると、マイク感度が良くなります。



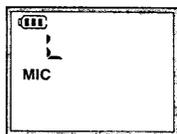
ご注意

マイク感度を選んで必ず事前に試し録りし、正常に録音されていることを確認してください。

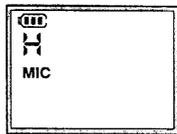
お知らせ

録音中にモードボタンを押すと、マイク感度レベルが5秒間表示されます。

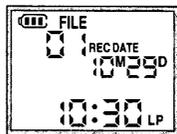
- ① 下図のような「MIC」が表示するまでモードボタンを押して、マイク感度切換画面にする
 - ・現在設定されているマイク感度が表示されます。
 - ・初期値は「L」です。



- ② シャトルスイッチを回して、「L」か「H」を選ぶ

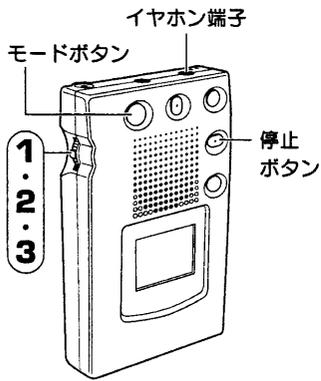


- ③ シャトルスイッチを押す
 - ・マイク感度が設定され、ファイル選択モードに戻ります。



再生する

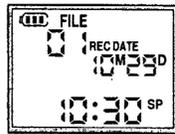
シャトルスイッチの操作だけで再生できます。



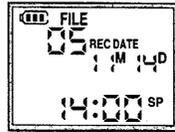
お知らせ

- 市販のイヤホンをつなぐと、スピーカーから音が出なくなり、イヤホンから聞くことができます。イヤホンは、イヤホン端子にしっかり差し込んでください。

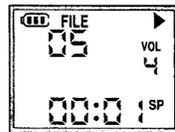
- ① シャトルスイッチを押す
 - 下図のようなファイル選択モード画面が表示されます。



- ② ファイル選択モードでシャトルスイッチを回して、再生したいファイルを選ぶ
 - ファイル番号、録音した日付、時刻が表示されます。



- ③ シャトルスイッチを押す
 - 「▶」が表示され、再生が始まります。
 - 最初の5秒間は「VOL」の音量表示が出ます。

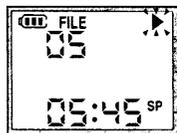


- 再生を止めるときは停止ボタンを押してください。そのファイルの最初に戻って停止します。
- 再生が終わると、次のファイルを表示して停止します。

● いろいろな再生

再生を途中で止める (再生一時停止)

再生中にシャトルスイッチを押す



- 再生が一時停止し、「▶」が点滅します。
- もう一度押すと、一時停止した位置から再生が再開されます。「▶」が表示され、再び「VOL」の音量表示が5秒間出ます。

早送り、早戻しする

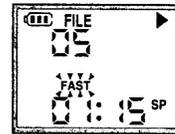
再生中にシャトルスイッチを回す



- 5秒間隔で早送り・早戻しされます。
- 再生中は他のファイルを再生できません。
- 音量表示「VOL」が出ているときは早送り、早戻しできません。音量表示が消えるまで5秒待つか、モードボタンを押して音量表示を消してください。

速聞き再生する

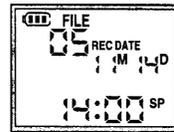
停止中、または再生中にシャトルボタンを1秒以上押す



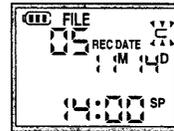
- 「FAST」が点滅し、通常の再生スピードよりも約1.3倍の速さで再生します。
- 速聞き再生中にシャトルボタンを押すと、再生一時停止になります。もう一度シャトルボタンを押すと、通常のスピードで再生が始まります。

ファイルを繰り返し再生する (リピート再生)

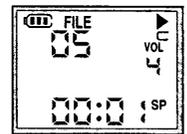
- ① ファイル選択モードでシャトルスイッチを回して、リピート再生したいファイルを選ぶ



- ② 下図のように「C」が点滅しているリピート設定画面が表示されるまで、モードボタンを繰り返し押す。



- ③ シャトルスイッチを押す
 - リピート再生が始まります。
 - リピート再生中にシャトルスイッチを押すと、再生を一時停止できます。もう一度シャトルスイッチを押すと、リピート再生を再開します。

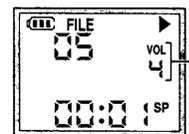


- ④ 停止ボタンを押す
 - 再生が停止し、リピートは解除されます。

● 音量を調整する

再生が始まると音量表示が5秒間表示されます。このときシャトルスイッチを回すと音量を調整できます。5秒経ってから、再び音量表示をさせたいときは、再生中にモードボタンを押してください。

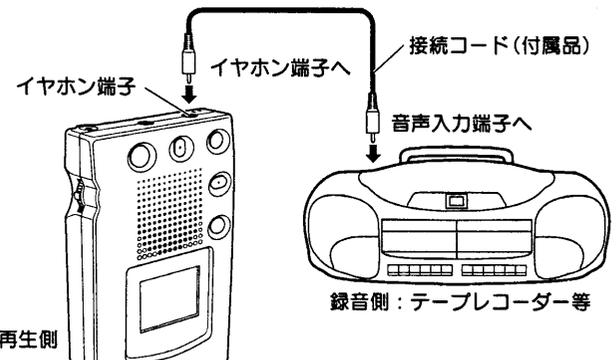
- 選べる音量は、0~8までの9段階です。数字が大きいほど、音量は大きくなります。初期値は「VOL 4」に設定されています。



音量表示

● 他機へダビングする

本機で再生して、他のオーディオ機器に音声をダビングすることができます。ダビングするときは、本機のイヤホン端子と録音する機器の音声入力端子に付属の接続コードを接続します。



- ① 図のように本機と録音する機器を接続する
- ② 本機で再生を始める
- ③ 録音する機器で録音を始める
 - ダビングが始まります。

お知らせ

- ダビングする前に、本機の音量と録音する機器の録音レベルを調整してください。
- 必ず事前に試し録りし、正常に録音されていることを確認してください。

ファイルを消去する

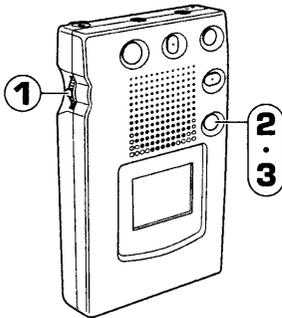
録音したファイルを1つずつ、またはすべてのファイルを一度に消去できません。

消去したファイルは元に戻せません。消去する際は十分にご注意ください。

● ファイルを1つずつ消去する

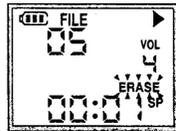
ファイルを選んで消去する ⇨ 手順①から操作します。

再生中にファイルを消去する ⇨ 手順②から操作します。

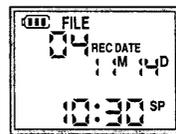


- ① ファイル選択モードでシャトルスイッチを回して消去したいファイルを選ぶ

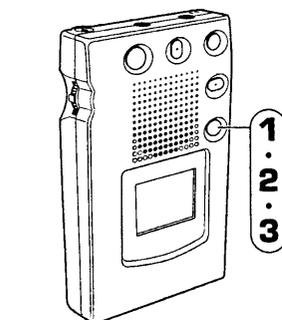
- ② 消去ボタンを押す
 ・確認のために5秒間再生し、「ERASE」が点滅します。



- ③ 「ERASE」が点滅している間に、もう一度消去ボタンを押す
 ・ファイルが消去され、1つ前のファイルで停止します。
 ・後にファイルがある場合は、後のファイル番号は1つずつ繰り上がります。

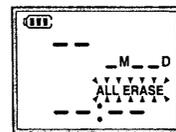


● すべてのファイルを一度に消去する

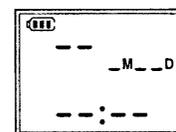


- ① 消去ボタンを押しながら、リセットボタンを押してから離す
 ・リセットボタンはつまようじなどで押してください。

- ② 消去ボタンを離す
 ・時計表示が「--:--」に変わり、「ALL ERASE」が5秒間点滅します。

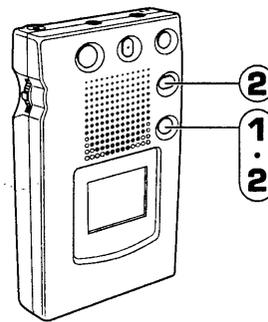


- ③ 「ALL ERASE」が点滅している間に、消去ボタンを押す
 ・すべてのファイルが消去され、時計の設定が消えます。また、各モード設定が初期値に戻ります。
 ・消去ボタンを押さなかった場合は、ファイルは消去されませんが時計の「時」「分」設定が消えます。また、マイク感度の設定は初期値の「L」に戻りますので再設定してください(4、7ページ参照)。

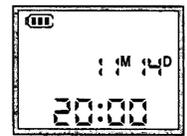


誤動作を防ぐ(ホールド機能)

かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないように設定できます。ホールド機能を使うと、誤動作によるファイルの誤消去や乾電池の消耗が防げます。



- ① 停止ボタンを約1秒以上押す
 ・パワーオフモード(時計表示)になります。



- ② 停止ボタンと消去ボタンを同時に押す
 ・「HOLD」が5秒間点滅し、パワーオフモード(時計表示)に戻ります。



お知らせ

ホールド機能が設定されているときにボタンを押すと、②と同じ表示が出ます。

● ホールド機能を解除する

ホールド機能を設定したあとは、操作する前にホールド機能を解除してください。

解除するには、停止ボタンと消去ボタンを同時に押す

- ・「HOLD」と「OFF」が5秒間点滅し、パワーオフモード(時計表示)に戻ります。



安全にお使いになるためのご注意

この取扱説明書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、重要な注意事項を記載していますので、必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。

警告

誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容を示しています。

注意

誤った取り扱いをすると、「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される」内容、および「物的損害(※3)のみの発生が想定される」内容を示しています。

※1 重傷 ……失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

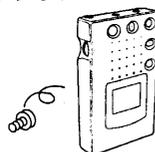
※2 傷害 ……治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害 ……家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

 <p>この記号は、気をつけていただきたい「注意」内容です。</p>	 <p>この記号は、「水にぬらすことを禁止する」ことを表しています。</p>
 <p>この記号は、してはいけない「禁止」内容です。</p>	 <p>この記号は、「分解禁止」を表しています。</p>

警告

分解・改造しない、カバーを開けない



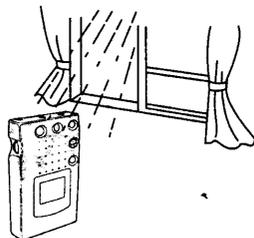
分解・改造すると、火災・やけどの原因となります。
・内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

運転中は使わない



自動車、オートバイ、自転車などの運転中に本機を操作しないでください。交通事故の原因となります。

水にぬらさない



内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。
・水場では本機を使用しないでください。
・屋外や窓辺で使用するときは、本機をぬらさないようにご注意ください。
・内部に水が入ってしまったときは、使用を中止し、販売店にご相談ください。

警告

落とさない



落として本機を破損すると、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合があります。
異常がある場合は、内部の点検・調整・修理を販売店にご依頼ください。

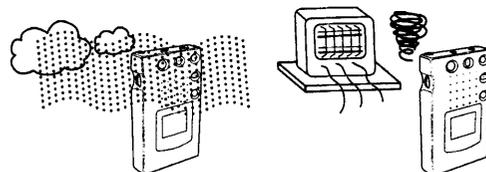
振り回さない



ストラップ穴にリストストラップなどを取り付けた場合は、本機を振り回したりしないでください。

注意

湿気、ほこり、湯気は避ける
極端に温度が高い場所は避ける



火災・感電を防止するため、次のような場所に置かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所
- 直射日光や夏の閉め切った自動車の中
- 熱器具の近く

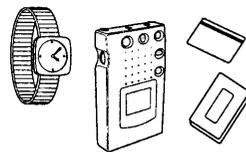
注意

音量を上げすぎない



大きな音量でイヤホンを使用すると、聴力に悪影響を与える原因となることがあります。

磁気の影響を受けやすいものを近づけない



本機のスピーカーの磁気の影響で、時計・キャッシュカード・定期券などが、正しく使えなくなることがあります。

- 指定以外の乾電池は使わないでください。
指定されていないもの、種類が異なるものや、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂・液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
- 乾電池を取り扱う際は、次の点を守ってください。
 - ・火の中に入れてはいけない
 - ・充電・分解しない
 - ・加熱しない
 - ・ショートさせない
 - ・鍵などの金属物と接触させない
 これらの点を守らないと発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。
- 使い終わった乾電池は、本機から取り外してください。
- 長時間お使いにならないときは、乾電池を本体から外してください。

使用上のご注意

- 故障の原因となりますので、以下のことは避けてください。
 - ・強い衝撃や落下
 - ・倉庫などほこりの多いところでの使用
 - ・雨や水しぶきがかかる場所での使用
- 大切な録音をするときは試し録りを
 - ・大切な録音の場合は、必ず事前に試し録りし、正常に録音されていることを確認してください。
- 録音内容の補償について
 - ・本機を使用中、万一不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- 著作権について
 - ・あなたが本機で録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

故障かなと思ったら

下記のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	お調べください
操作できない	ホールド状態になっていませんか？
スピーカーから音が出ない	音量が小さくなっていませんか？ イヤホンが差し込まれていませんか？
イヤホンを使用したときに聞こえない、聞こえにくい、雑音が入る	イヤホンはしっかりと差し込まれていますか？ プラグが汚れていませんか？(きれいにふきとってください)
電池表示が出る	乾電池が消耗していませんか？
録音日時が表示が“--:--”になる	時計を合わせましたか？
「FULL」表示が出て、録音できない	300ファイル以上、または録音可能時間以上録音しようとしていませんか？
液晶表示が出ない	新しい乾電池に交換してください。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日から1年です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電取扱店をご紹介させていただきます。

修理を依頼される場合は(持込修理)

本機が正常に動作しないときは、「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。保証期間中は保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをご知らせください。

品名： ICレコーダー
形名： HDM-160R
故障の状況： (できるだけ具体的に)

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

仕様

電源	DC3V(アルカリ単4形乾電池×2本使用)
実用最大出力	90mW
スピーカー	2.8cm 丸型 8Ω
外形寸法	幅54×高さ96×厚さ13.6 mm
質量	約74g(乾電池含む) 約52g(乾電池含まず)
許容動作温度/湿度	0~40℃/80%以下
マイク入力端子	モノラル3.5φ：入力インピーダンス10kΩ 最大入力信号 0.8mVrms
イヤホン端子	モノラル3.5φ：出力インピーダンス68Ω 最大出力信号 300mVrms
最大録音時間	約75分(SPモード) 約160分(LPモード)
電池持続時間	連続録音時 約20時間(アルカリ乾電池使用時) 連続再生時 約10時間(アルカリ乾電池使用時)

付属品

アルカリ単4形乾電池 2本
接続コード(3.5φ-3.5φケーブル)

お手入れ

本機をふくときは、柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤(中性)を含ませた布でふいてから、からぶきしてください。

- ・アルコールやシンナーなどでふかないでください。本体ケースの塗装がはげたり、変質することがあります。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

無料修理規定

- 取扱説明書の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 業務用または過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。
- 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にできない場合には、別紙の日立家電品ご相談窓口一覧表をご覧ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

- ・この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙のご相談窓口にお問い合わせください。
- ・保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。